

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第44号
平成29年12月14日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

2学期もあとわずか

このところ、早朝の気温が下がり、車のウィンドウガラスが霜で真っ白に覆われる日が多くなりました。多彩な行事で慌ただしかった2学期も、残りわずか。今、教室では、最後の追い込みと学期のまとめに取り組み、校庭では、元気に遊ぶ子供たちの歓声が聞こえます。

いつもと変わらぬいつもの風景。小学校らしい日常が続くこと。それが、最たる願いです。冬休みも間近となりました。「やさしく かしこく たくましく」満足感・充実感を持って終業式を迎えてほしいものです。



昔遊び交流会

12/12(火)

3年生が、8区長寿会と9区長春会の皆様の協力を得て、恒例の「昔遊び交流会」を行いました。児童のおじいさまやおばあさまも大勢お越しくださり、体育館には和やかな笑顔が並びました。「桐生市歌」と「ふじの山」を一緒に歌い、運動会で踊った「西小ソーラン」を披露し、剣玉やメンコ、おはじき、あやとり、お手玉など、コツを教わりながら、たくさんの遊びが一緒にできて、子供たちは、ご満悦だったようです。



学校保健委員会 12/5(火)

『ハンカチ・ティッシュをいつもポケットに！大作戦』をテーマに、第2回学校保健委員会を開催しました。今回は、保健委員の児童と保護者を交え、校医さんや薬剤師さんにも加わっていただき、班別協議を行いました。

児童保健委員会の調査結果に基づき、活発に意見が交換され、とても有意義な会となりました。ハンカチに付随して、「手洗い」について、きちんと指導してほしいという意見が多く出されていました。

水が冷たいこの季節、どうしても、なおざりになりがちですが、風邪やインフルエンザ・胃腸炎等の予防に有効です。石けんを使う。手首まで洗う。時間をかける。励行させたいものです。



児童集会[保健委員会] 12/12(火)

左記の委員会で発表したことを、全校児童に伝えました。7月にハンカチ・ティッシュを持っている児童の人数を調べた結果、全校で、ハンカチを[持っている 61.7% 持っていない 38.3%]ティッシュを[持っている 53.1% 持っていない 46.9%]でした。そこで、様々な方法で児童に呼びかけたところ、11月には、ハンカチを[持っている 68.7% 持っていない 32.2%]ティッシュを[持っている 61.7% 持っていない 38.3%]へと向上しました。



ただ、学校に持ってきてはいるが、カバンの中に入っていたり、体育着のときは携行していなかったりすることがあるので、『いつもポケットに！』が徹底するよう、呼びかけを続けていくとのことでした。保護者の皆様、これからは、洗濯するときにポケットにティッシュが入っていないかどうか、入念な確認をお忘れなく。洗濯物が大変なことになる前に…。

避難訓練(不審者の侵入) & 登下校時等の防犯安全対策

12月1日金曜日、校内にナイフを持った暴漢が侵入したという想定で、避難訓練を行いました。該当の学級では、事前指導として児童に避難経路を歩かせたり、職員室に通報する係児童を決めておいたりしておいたはずだったのですが、いざとなると、やはり慌ててしまい、間違えたり、抜け落ちたりした部分がありました。訓練とはいえ、凶器を持った人が近づいて来たら、恐怖が先に立ってしまいます。職員も動き回る暴漢にうまく対処できず、凶らずも殉職者候補になってしまいました。こういう訓練は、火災や地震と違って、なかなか全教職員を対象には実施できませんが、教職員向けの暴漢への対処法講習も必要と感じました。

避難終了後、体育館に移動し、通学区域内に存在する防犯上危険と思われる箇所を写真で示し、どんなことに注意したらよいかを学習しました。



- 人の気配を感じられない場所(空き家や空き地)
- 暗い場所や陰になって見づらい場所
- 人通りの少ない場所
- いつも汚れていて清潔感を感じられない場所

誰でも入りやすいが、外からは見えにくいような場所が危険です。知らない人を見たら、不審者と思えという教育はしたくありませんが、最近は新聞を開くと、普通の人の顔をした凶悪犯というニュースも珍しくありません。危ない怪しいと感じたら、「いか(ついていかない)の(のらない) お(おおこえをだす)す(すぐにげる)し(しらせる)」を実行です。